

【資料１】調査・検討部会の開催と調査の実施結果（概要）について

（１）調査・検討部会の開催結果

2026/ 4/ 5	第3回子どもの権利委員会（本会）
4/23	第6回調査・検討部会 （調査内容の検討等）
6/	★アンケート調査の開始（9月末終了予定）
6/25	第7回調査・検討部会 （ヒアリング調査内容の検討等）
7/24	第8回調査・検討部会 （ヒアリング調査内容の検討等）
8/ 4	第9回調査・検討部会 （ヒアリング調査①：ユースカウンシル）
8/18	★課題共有会議
8/18	第10回調査・検討部会 （量的調査結果に基づく本会に向けた議論）
8/19	第11回調査・検討部会 （ヒアリング調査②：モヤモヤミーティング@いけせい）
8/20	第12回調査・検討部会 （ヒアリング調査③：モヤモヤミーティング@のげせい）
8/22	第13回調査・検討部会 （ヒアリング調査④：モヤモヤミーティング@アップス）

【資料１】調査・検討部会の開催と調査の実施結果（概要）について

（２）調査の実施結果（概要）

①アンケート調査

◇調査対象

世田谷区内にある中学校、高校の ①生徒、②保護者、③教職員
世田谷区内にある児童館、青少年交流センターの ④施設職員

◇調査時期

令和８年６月～９月末

◇調査方法

オンライン（Logoフォーム）によるアンケート
（上記①～③のいずれも１２問、所要時間５分程度）

②ヒアリング調査

◇世田谷区ユースカウンスル

第０期メンバー１２人を対象に実施

◇モヤモヤミーティング（子ども・青少年会議）

区内３か所の青少年交流センター（いけせい、のげせい、アップス）
における参加者を対象に実施

(2) 調査の実施結果 (概要)

① アンケート調査の中間集計結果 (概要)

○7月10日時点の中間集計結果を紹介します。

(回答数)

① **中高生** 6,863件

② **保護者** 2,015件

③ **教職員** 246件

※④ **施設職員**は現在集計中です。

○すべての設問は、①生徒をベースに作成しました。

(問2の例)

【中高生】Q2.「世田谷区子どもの権利条例」が定められたことを知っていますか。

○はい ○いいえ

【保護者】Q2. あなたのお子さんは、「世田谷区子どもの権利条例」が定められたことを知っていると思いますか。

○はい ○いいえ

【教職員】Q2. 生徒たちは、「世田谷区子どもの権利条例」が定められたことを知っていると思いますか。

○はい ○いいえ

【施設職員】Q2. 子どもたちは、「世田谷区子どもの権利条例」が定められたことを知っていると思いますか。

○はい ○いいえ

→以降の資料は、中高生の質問のみ掲載します。

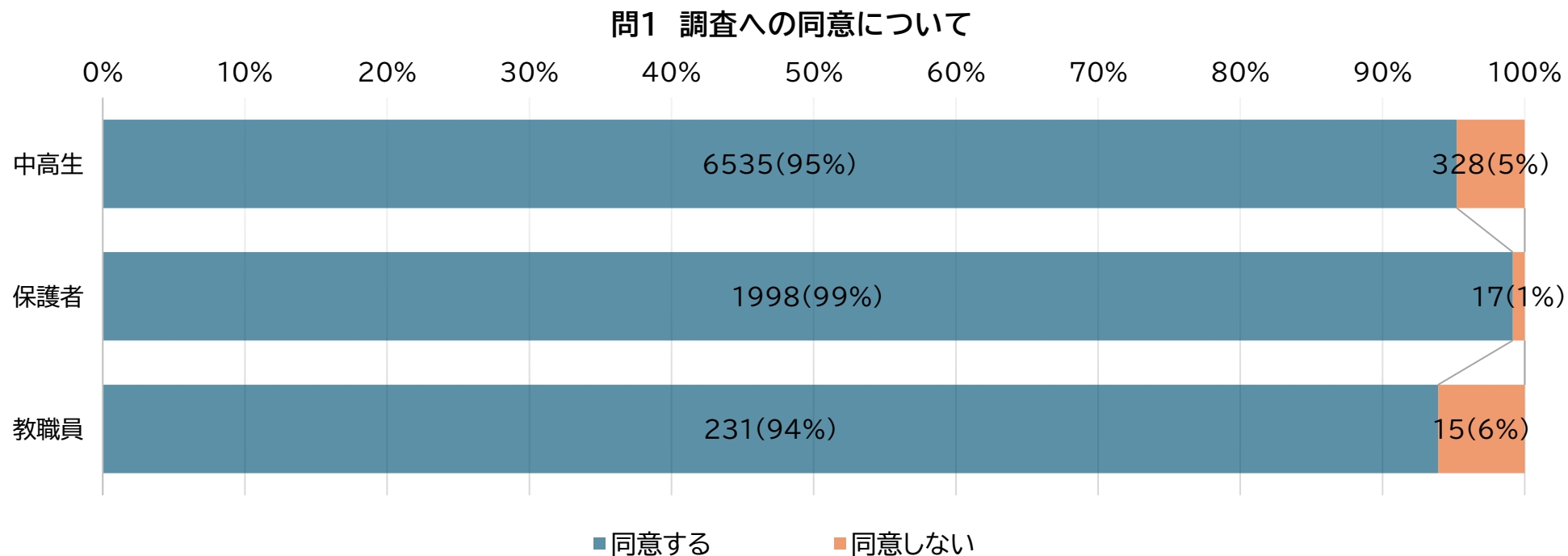
①アンケート調査の中間集計結果（概要）

Q.1

Q1.調査への同意についておたずねします。あてはまる選択肢にチェックをしてください。

○同 意 す る（→ 次の設問に進んでください）

○同意しない（→ アンケートは終了となります）



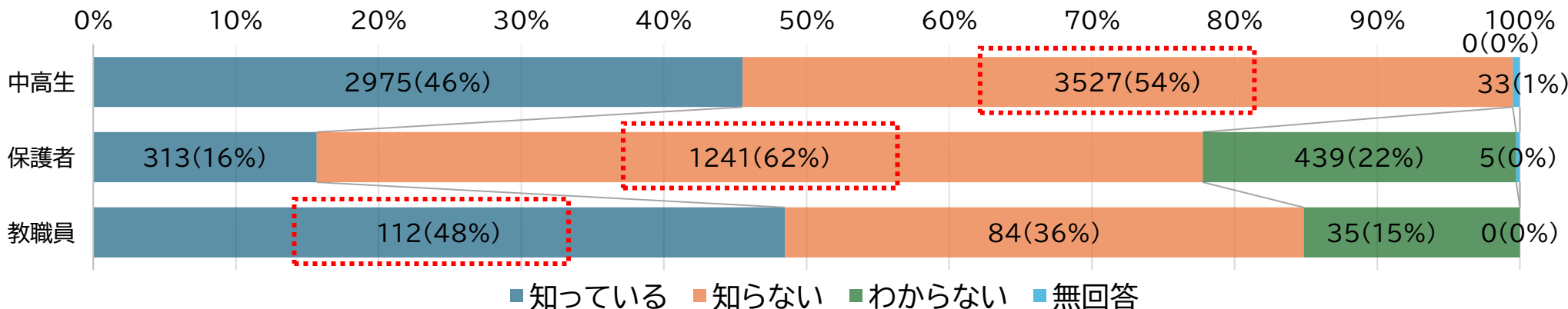
①アンケート調査の中間集計結果（概要）

Q.2

Q2.「世田谷区子どもの権利条例」があることを知っていますか。

○はい ○いいえ(→ Q4へ)

問2 「世田谷区子どもの権利条例」があることを知っていますか。



→中高生の約半数が知らない

→保護者の約6割が、子どもが知らないと思っている

②ヒアリング調査 ユースカウンシルメンバー（中学生～大学生世代）

Q.2

- ・保護者の「子どもは知っていると思う」という割合が低いのは、学校で配布された啓発物が子どもでとまっていて、保護者が目にする機会がないからだと思う。
- ・教職員の「生徒は知っていると思う」という割合が中高生と同等なのは、子どもの間近で見ているからだと思う。
- ・保護者は学校から直接保護者に届く情報をよく見ているので、学校から周知するのは有効だろう。
- ・中高生の認知度が46%にとどまっているのは、自分にとってメリットがあるか、興味があるかといった判断や感じ方が関係していると思う。聞いたことがあっても、自分にメリットや興味がなければ忘れてしまうのではないかな。

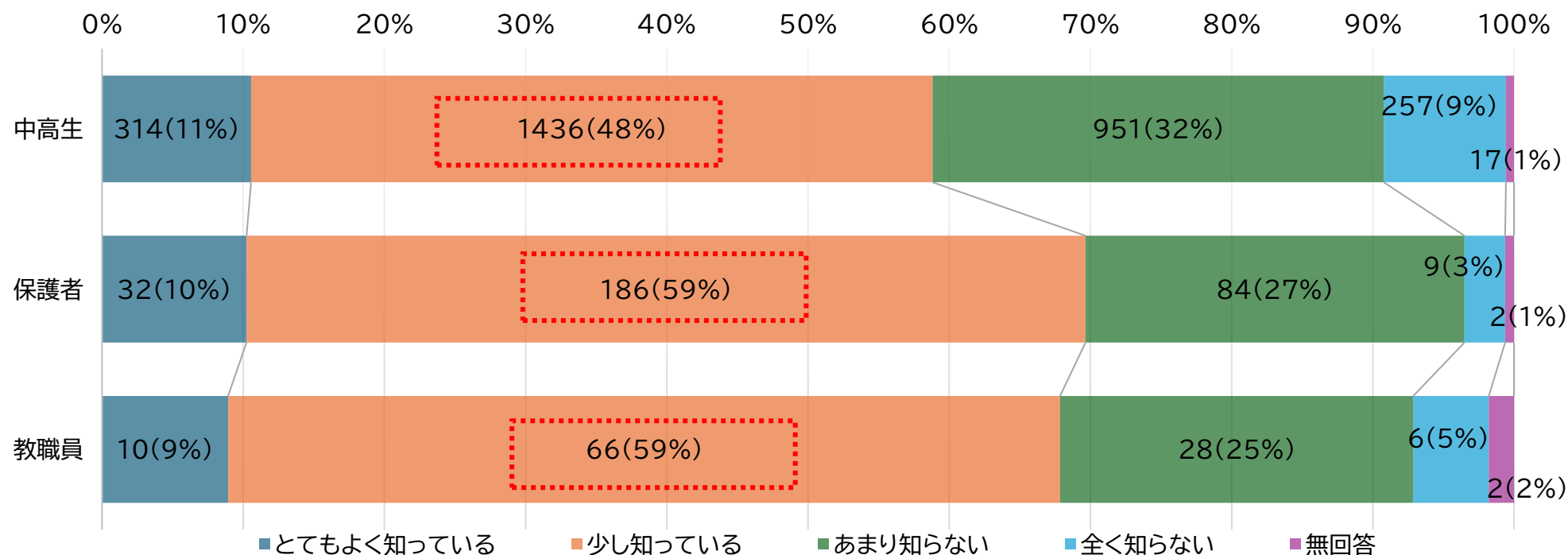
①アンケート調査の中間集計結果（概要）

Q.3

Q3.「世田谷区子どもの権利条例」では、子どもたちが「自分の意見や思いを表明し、自分に関わることに参加・参画することができる権利」があることを知っていますか。

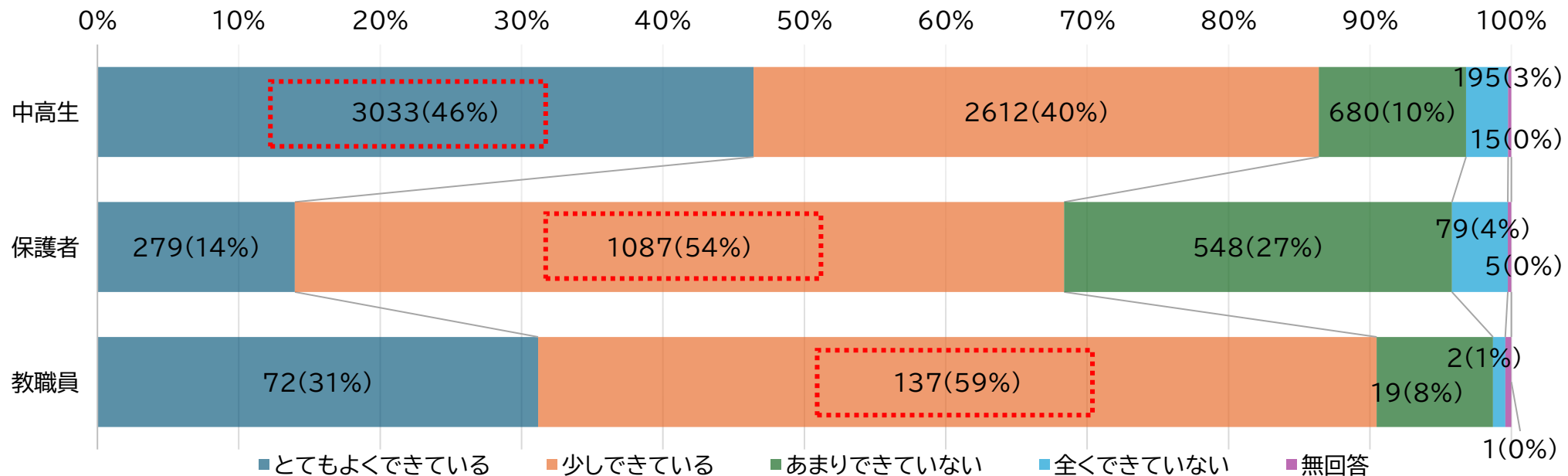
○全く知らない ○あまり知らない ○少し知っている ○とてもよく知っている

問3 「世田谷区子どもの権利条例」では、子どもたちが「自分の意見や思いを表明し、自分に関わることに参加・参画することができる権利」があることを知っていますか。



Q4.あなたの通う学校では、教職員に対して自分の意見や思いを表すことができますか。
☐ 全くできていない ☐ あまりできていない ☐ 少しできている ☐ とてもよくできている

問4 あなたの通う学校では、教職員に対して自分の意見や思いを表すことができますか。



→ 中高生自身は意見が言えているという割合が高い

→ 保護者は、子どもが学校の先生に自分の意見が言えていないと思っている

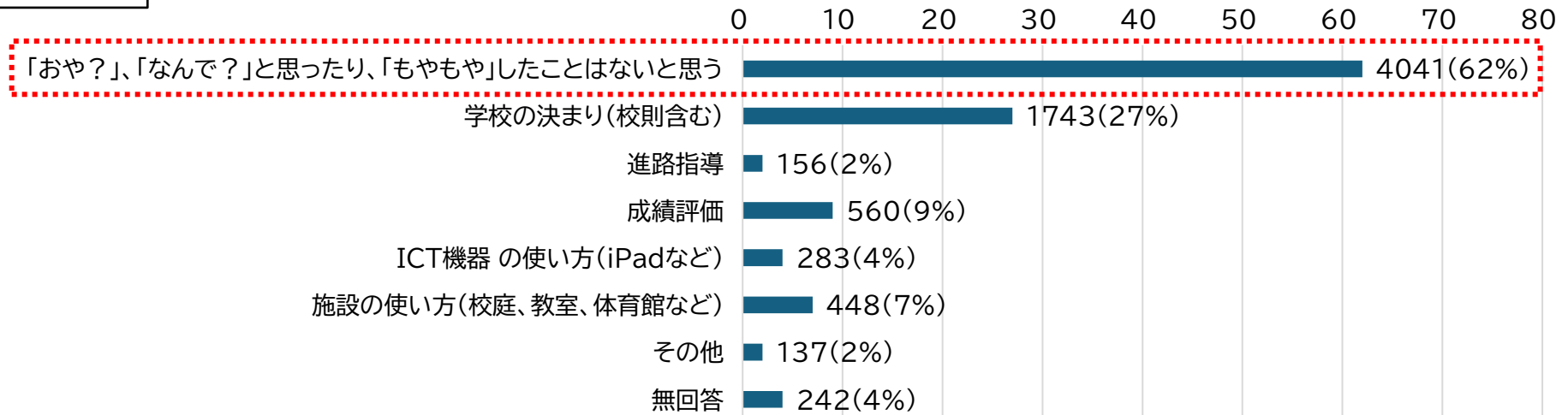
- ・中高生が86%(とても46%、少し40%)できているという回答について、解決策の目途がないテーマについては、できていると答えってしまう傾向があると思う。
- ・学校評価に関するアンケート等でも、余程不満がなければプラスの方向に回答している。
- ・これに否定的な回答をすることで、何か聞かれたら面倒と思ってしまう。心理的安全性が保たれていないことが、自分の意見をひっこめる要因になっているのかもしれない。
- ・正直に回答することで、変わる見込みがあると思えば正直に答えるかもしれない。
- ・アンケートの結果が直接自分に返ってこないのなら、まじめに答えなくてよいと考えてしまう。
- ・伴走してくれる大人がいて、何かを変えられる権限のある大人と話せることが必要。
- ・「これは区長に届けます」などの記載があれば、正直に書く。
- ・回答が、自分の身近な人に、秘密であり、特定されないということが大切。
- ・せたホッとからもアンケートがくるが、日ごろからチラシなどでよく目にしているから安心感がある。
- ・そもそも、何をもって自分の意見を表せているのかがよくわからない。
- ・ユースカウンシルは、意見をちゃんと受けとめてもらえるという期待感があるのかも。

Q5. あなたの通う学校のルールなどについて、「おや？」、「なんで？」と思ったり、「もやもや」したりしたことはありますか。(複数回答可)

- ☐ 「おや？」、「なんで？」と思ったり、「もやもや」したことはない(→ Q8へ)
- ☐ 学校の決まり(校則含む)
- ☐ 進路指導
- ☐ 成績評価
- ☐ ICT機器 の使い方(iPadなど)
- ☐ 施設の使い方(校庭、教室、体育館など)
- ☐ その他

→中高生は「「おや？」、「なんで？」と思ったり、「もやもや」したことがない」と回答した割合が6割以上と高い
→保護者や教職員は、子どもたちはもっともやもやを持っているだろうと思っている

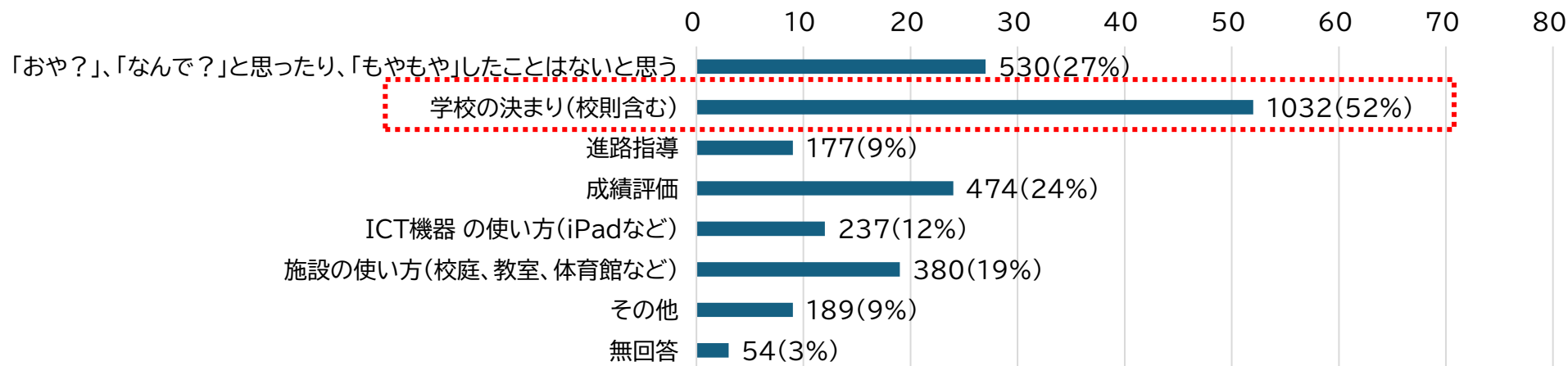
中高生



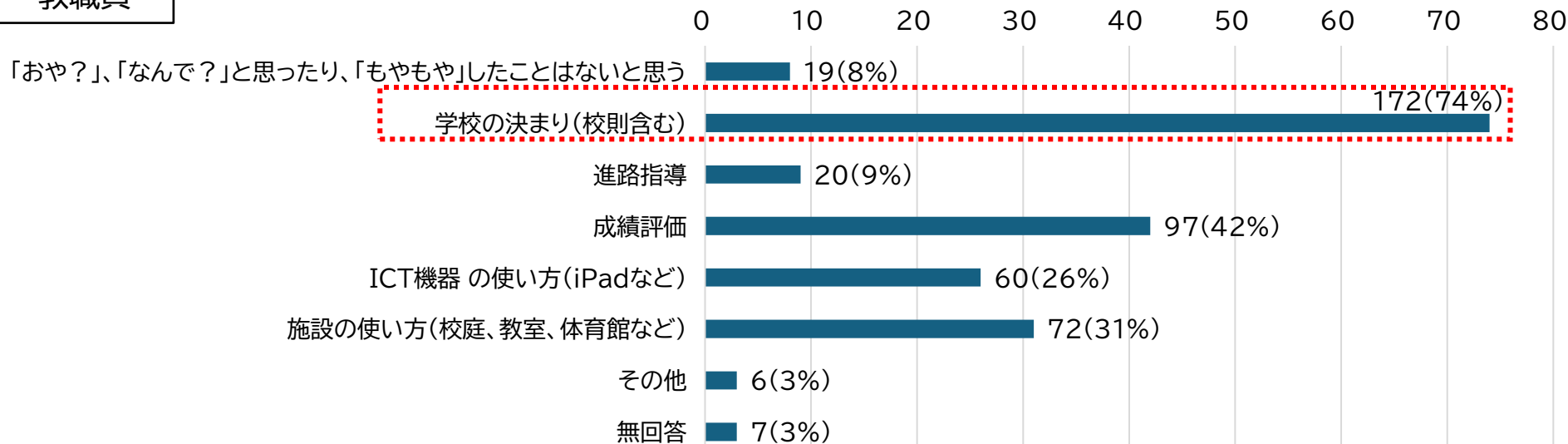
①アンケート調査の中間集計結果（概要）

Q.5

保護者



教職員



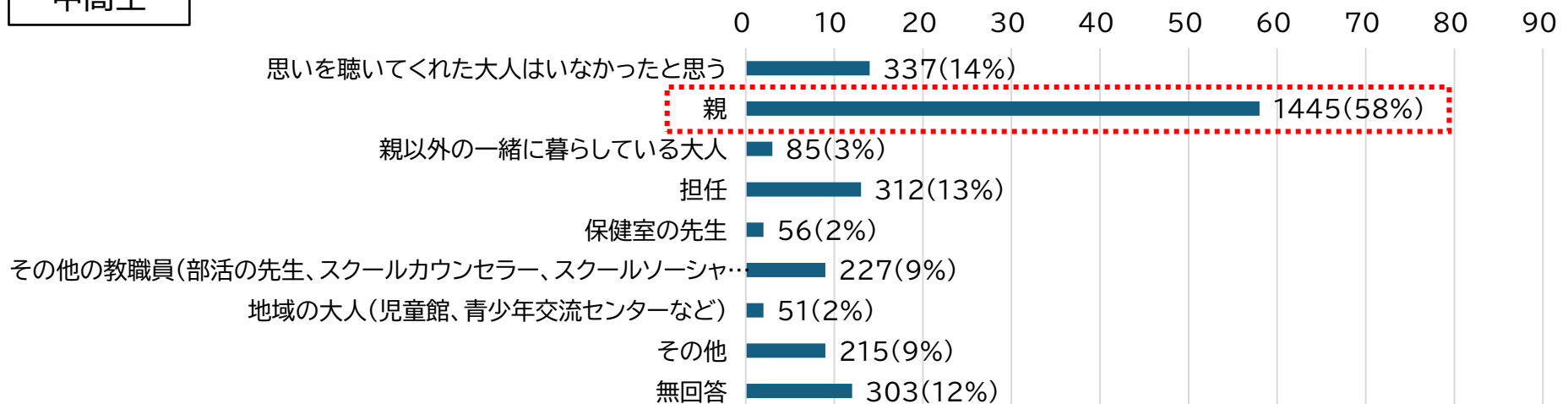
- ・中高生の回答で「「おや？」、「なんで？」と思ったり、「もやもや」したことがない」と回答した割合が高いのは、選択肢で一番最初にあり、面倒だから選択したのではないか。自分が学校の授業評価を回答する際よくやる手口。
- ・変えられる機会が少ないので、思っても人に言うことではない。変えられるとは思えないこと＝「もやもや」がないと思ってしまうのではないか。思っても人に言うことではないと思っていた。
- ・思っても「もやもや」までいかない。子どもと大人では「もやもや」と感じるハードルの高さが違うのではないか。中高生は意識化していない結果がこのアンケート結果に出たのではないか。
- ・高校に関しては、みんな受験しているので、女子の場合は学校を選ぶ基準が制服も入っており、自分で選んだ学校のルールなので、にもやもやしないのではないか。自分で決めたかどうかに関わる。
- ・意見や思いの表明ができていくのではなく、「自己決定できていますか」と聞いたら逆の結果になっているかも。自分で決めた感覚もなければ、もやもやしたこともないという回答になりそう。
- ・今回の調査は紙とwebで実施したのか？
 - 紙はなく全部webのみ。最初に同意をとり、同意しないに回答するとその時点でアンケート終了となる。また、いずれの回答も回答を必須としておらず、回答したくない設問には回答しないこともできる。最後の選択肢だったら割合が変わったかもしれない。
- ・中高生と教職員のギャップは、中高生であれば、校則で不満があっても学校で髪を染めたらいけないやピアスを開けたらいけない理由など、ちょっと考えたらわかるので、自分自身で納得ができており、「もやもや」にまではなっていないのではないか。そういうところでギャップがあるのではないか。
- ・決められた校則を若干崩す（例えば女子がスカートを短くしている）など先生から見たら、生徒はそもそも校則守っていないのを見ているので、教職員の「学校の決まり（校則含む）」の割合が高いのではないか。今の先生は注意してこない。されたら生徒はもやもやするかもしれない。そもそも校則に書いてあるがそれを破っている姿を見ると生徒たちに不満があるように見えるのではないか。
- ・先生も生徒も諦めている。言っても変わらない。
- ・高校で、冬に制服の上に着るコートに関しての決まりを変えることに、生徒会が評決をとるなど大変で、約4年がかりで取り組んでいた。学校の決まりを変えることに、それだけ期間がかかる。変えることのハードルが高い。協力的な先生と積極的な生徒がいないと変わらない。
- ・各校の校長先生によって意見が通る、通らないが決まる。校長先生が柔軟だった時はいろんな決まりへの要望が通った。校長先生自身が「だめ」と言ったもの以外は変わった。
- ・反抗期の時期なので、子どもが学校で見せる顔と家で見せる顔が違う。保護者は反抗する姿を多く見ているので、子どもがもやもやしていると感じるのではないか。
- ・保護者世代は、自分自身の時代と重ね、学校の決まりや校則などが厳しいと思っているのではないか。

Q6.「おや?」、「なんで?」と思ったり、「もやもや」した思いを聴いてくれた大人は誰ですか。(複数回答可)

- ☐ 思いを聴いてくれた大人はいなかった
- ☐ 親
- ☐ 親以外と一緒に暮らしている大人
- ☐ 担任
- ☐ 保健室の先生
- ☐ その他の教職員(部活の先生、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど)
- ☐ 地域の大人(児童館、青少年交流センターなど)
- ☐ その他

→中高生はその他が(9%)であり、大人に相談しないという自由記述が多いという結果
 →なぜ大人に相談しないか。大人に悩みを相談する場合はどのようなケースか。

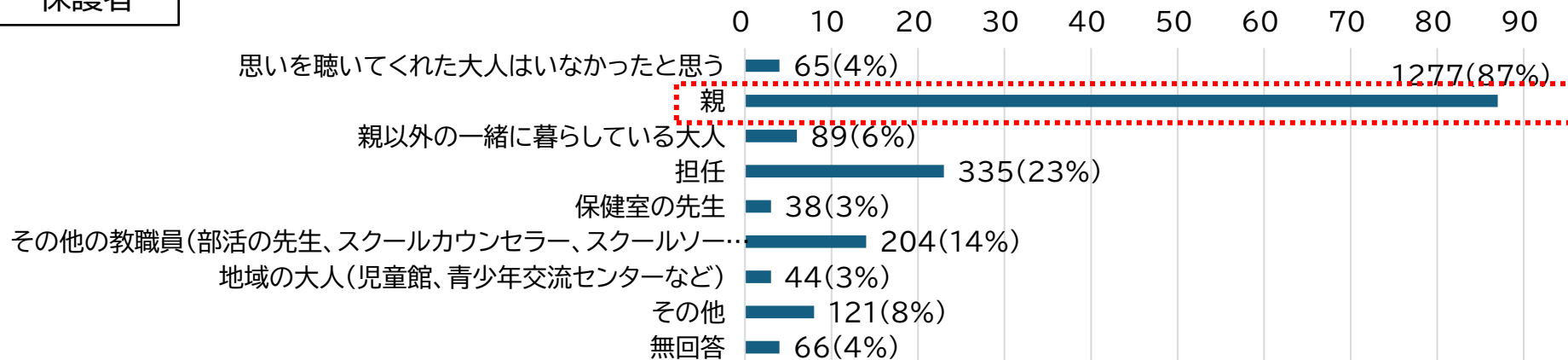
中高生



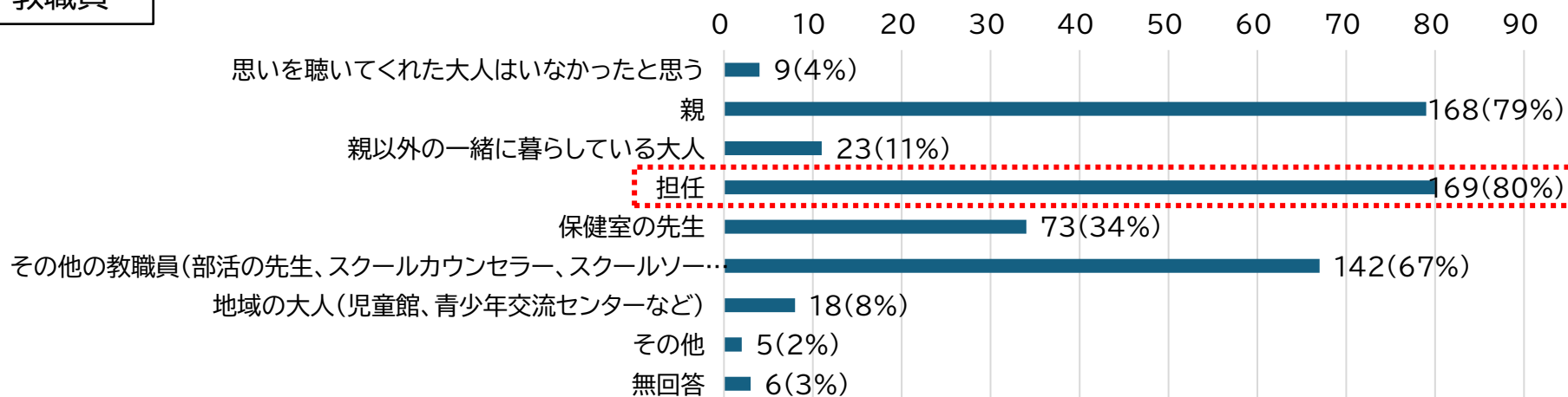
①アンケート調査の中間集計結果（概要）

Q.6

保護者



教職員



- ・誰に話すかはトピックによる。今回「学校の決まり事やルールについて」の設問だったので、同じ校則の友達となったのではないかな。
- ・話すハードルの高さが関係している。話す機会の多さ。親や担任の先生は、ほぼ毎日話すが、保健室の先生やその他教職員や地域の大人などは頻度が低いので相談することもない。
- ・今回は大人に限られているので絞られたが、AIが多いと思う。AIだったら内容などを、他の人に知られない。
- ・友達に話した方がどこまで広がるかがわかる。「誰にも言わないでね」と言っても広がるので、ある程度（だれがどのように言ったのかが）読める。大人に話すとどこまで広がるかわからない不安がある。先生だとよりそう思う。「言わないで」と言ってもどうせ他の先生に言う。
- ・恋愛の話をすると、特に先生間で広まっている。
- ・話す前に成績に関わると考え、あんまり話さない。よく見られたいので。
- ・評価などに主観が入っている先生が多いと思う（特に体育）。成績に納得いかななくても言えない。体育の先生が怖い。
- ・保健室の先生は、体調崩した時に話す。
- ・若手の先生、実習生などには話しやすい。利害関係がない、若い人が話しやすい。年配の先生は人によるが、理解してもらえるかが不安。
- ・（先生の）性別は、話すかどうかの判断に、さほど関係しない。
- ・優しいような人に話す。「優しい」の判断は授業の態度。
- ・仲の良い先生には、別の先生の悪口を話す。信頼しているから漏れない。
- ・会社にはあるのに学校にはコンプラ窓口がない。そこは疑問。
- ・（自由記述に目安箱の記載があったことを受け、目安箱があると良いと思うか聞いたところ）、目安箱あるけど名前出すならやりたくない。紙だと出さないの学校ではインスタで匿名で投稿できた。実際ちゃんと見ているのか不安。意見がどのように扱われるのか知っておきたい。活動報告などちゃんとしてほしい。個人情報を出したくない。相談したいけど、やった後、先生に知られたくない。匿名でも字が汚いので筆跡で誰かわかるかもしれない。

家庭

- ・両親と話すことある（社会問題）
- ・親
- ・ママに言ったことある
- ・親に言うと心配しすぎる 取り調べみたい
- ・親に相談しても「それだけ？」といわれるから言えない
- ・ママに相談しても解決しない

友達

- ・親友
- ・仲良い友達に相談
- ・解決ではなく気持ちを分かってくれる相談相手
- ・明るくておもしろい人は話せる
- ・友達に言うと誰かに言っちゃいそう
- ・他人にはがまん
- ・意見をいったら気まずくなる

先生

- ・若い職員には話しやすい
- ・担任の先生に相談（解決したことが一回もない）
- ・学校の相談室（先生に会ったことない）
- ・一人だけ優しい先生がいて言いやすい
- ・先生には話さない
- ・男の先生 相談しづらい
- ・先生に相談したら不平等な対応された
- ・先生に言ったら理不尽に怒られた
- ・先生には言わない
- ・先生怖い

その他

- ・言う相手がわからない
- ・信用できる人がいない
- ・話さない
- ・一人で抱えている

①アンケート調査の中間集計結果（概要）

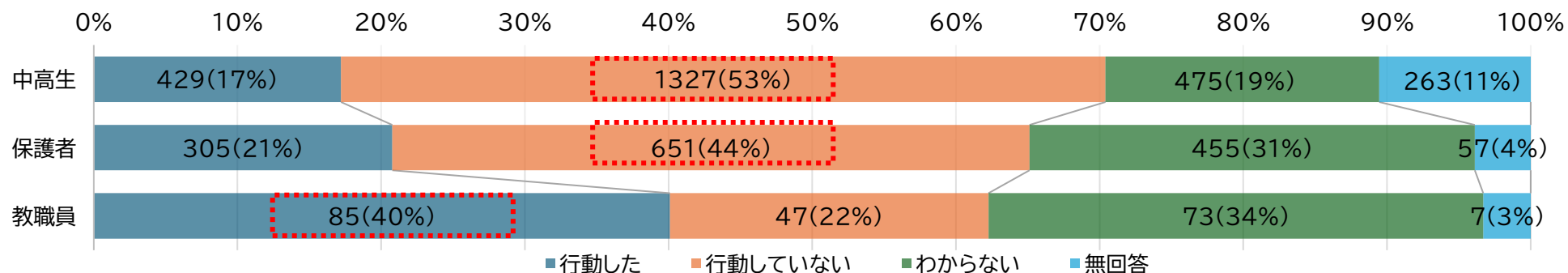
Q.7

Q7.「おや？」、「なんで？」と思ったり、「もやもや」した学校のルールなどを改善するために、行動しましたか。その行動は、まわりの大人に受けとめてもらえたか。

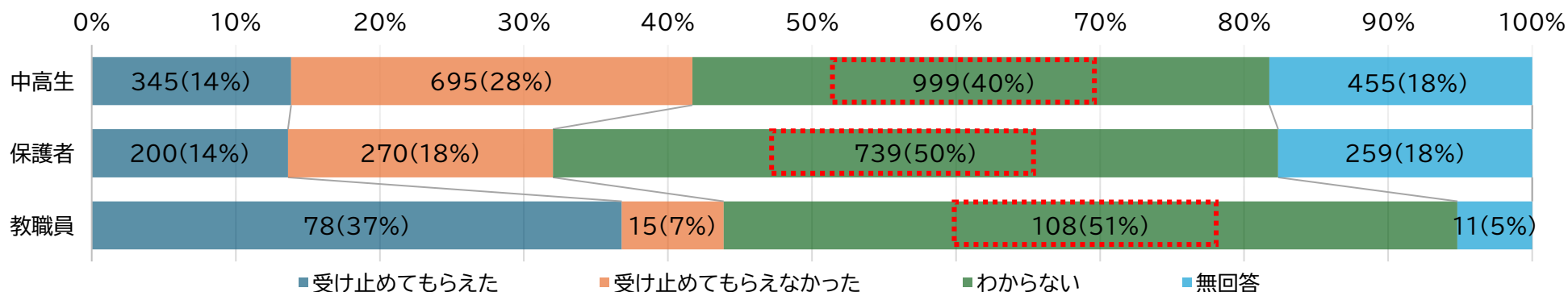
①行動した……………○はい ○いいえ ○わからない

②その行動を大人に受けとめてもらえた……○はい ○いいえ ○わからない

問7-1 「おや？」、「なんで？」と思ったり、「もやもや」した学校のルールなどを改善するために、行動しましたか。



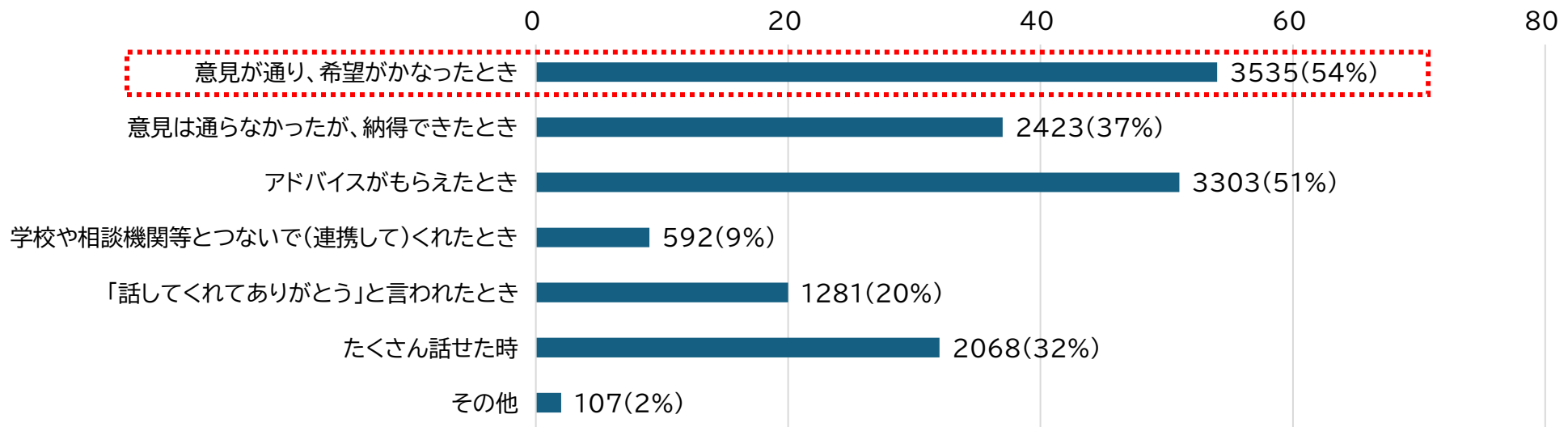
問7-2 その行動は、まわりの大人に受けとめてもらえたか。



Q8. 大人が自分の意見や思いを聴いてくれたと感じるのはどんなときですか。（複数回答可）

- ☐ 意見が通り、希望がかなったとき
- ☐ 意見は通らなかったが、納得できたとき
- ☐ アドバイスがもらえたとき
- ☐ 学校や相談機関等とつないで（連携して）くれたとき
- ☐ 「話してくれてありがとう」と言われたとき
- ☐ たくさん話せた時
- ☐ その他

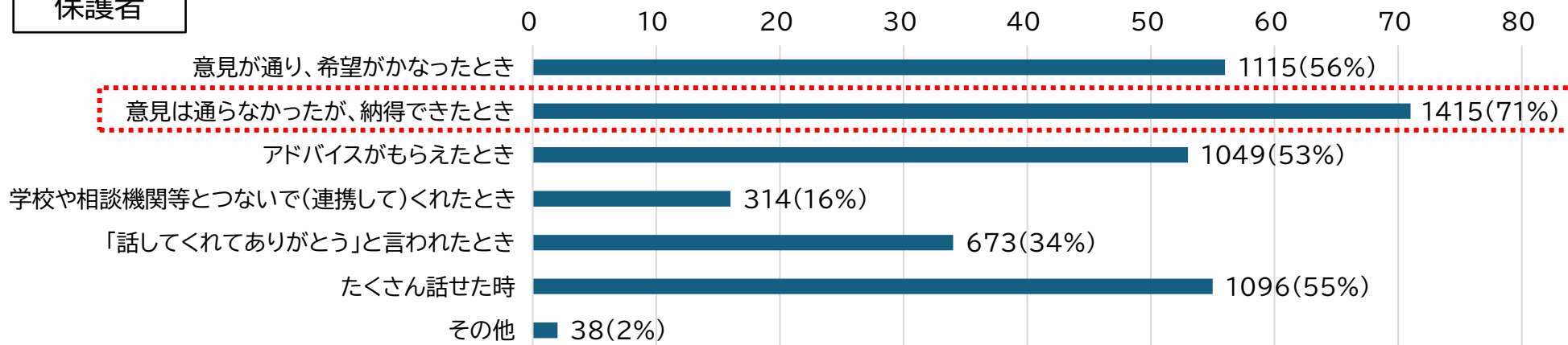
中高生



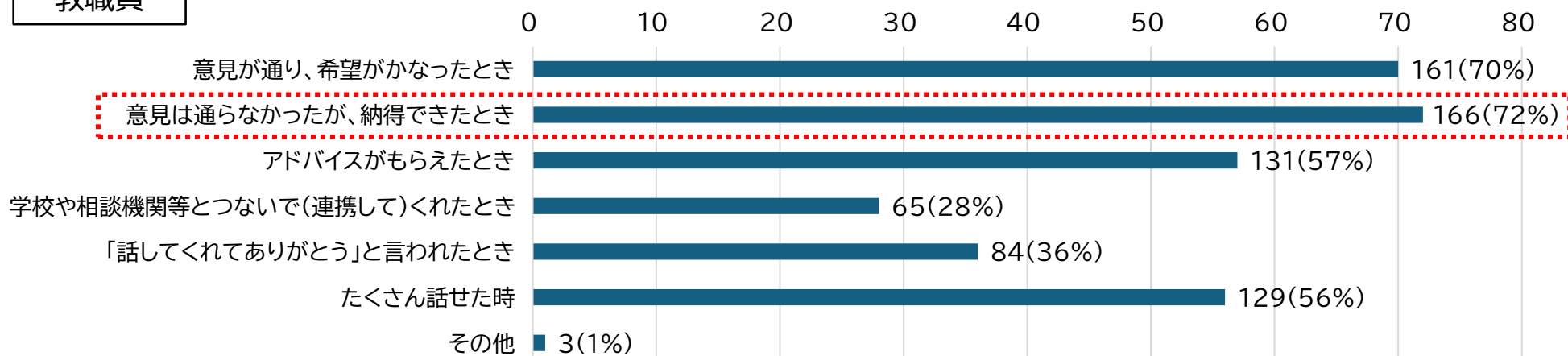
①アンケート調査の中間集計結果（概要）

Q.8

保護者



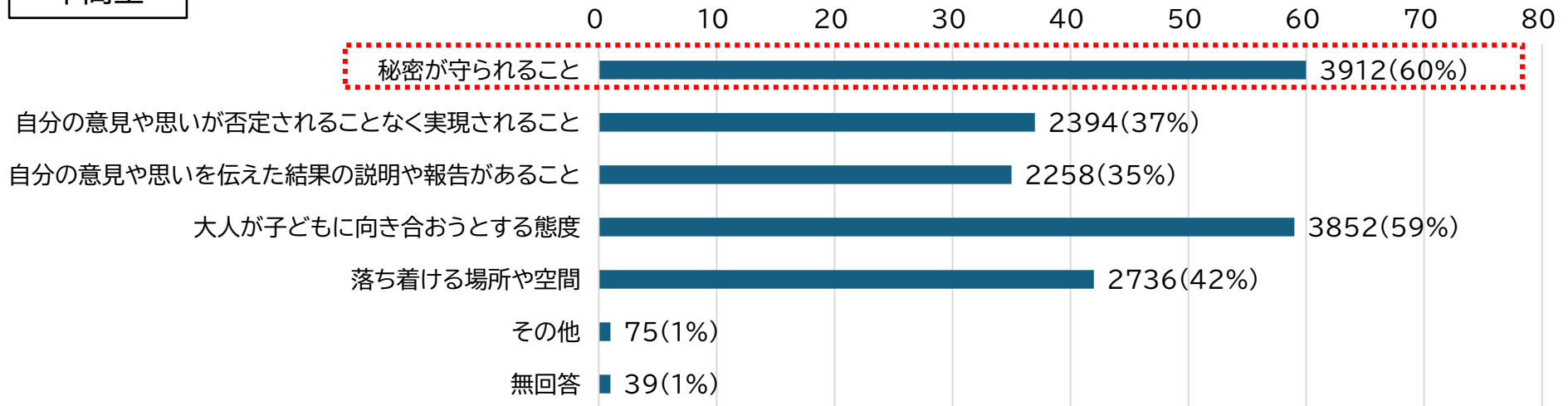
教職員



Q9. あなたは、大人に自分の意見や思いを伝えるために、何が必要だと思いますか。（複数回答可）

- ☐ 秘密が守られること
- ☐ 自分の意見や思いが否定されることなく実現されること
- ☐ 自分の意見や思いを伝えた結果の説明や報告があること
- ☐ 大人が子どもに向き合おうとする態度
- ☐ 落ち着ける場所や空間
- ☐ その他

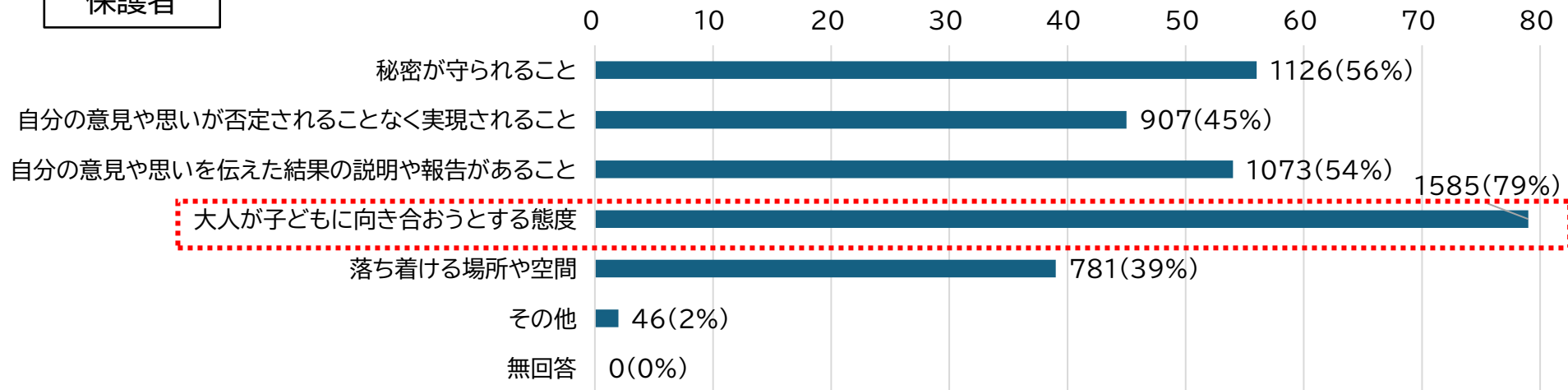
中高生



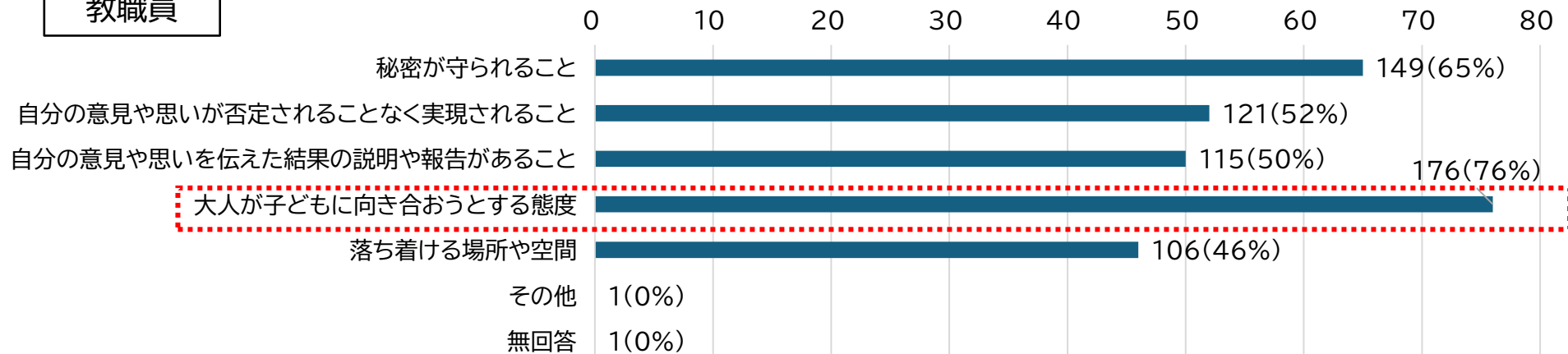
①アンケート調査の中間集計結果（概要）

Q.9

保護者



教職員



Q10.「自分の意見や思いを表明し、自分に関わることに参加・参画することができる権利」について、自分の周りで実現できていると感じた経験や、「こうなったらいいのにな」という希望や要望があれば聴かせてください。

（自由記述 回答のまとめ）

項目	内容
最重要テーマ	自分の話や意見を最後まで聞いてもらえること
肯定的要因	共感・納得・尊重・返答があると「聞いてもらえた」と感じる
行動面	意見を聞くだけでなく行動に移してくれることが評価されている
課題	聞いてもらえていない、無視される、話しても理解されないという回答も見られる
全体傾向	傾聴・共感・対話・フィードバックが重要であることが示されている

①アンケート調査の中間集計結果（概要）

Q.11

Q.12

【最後に】あなた自身について

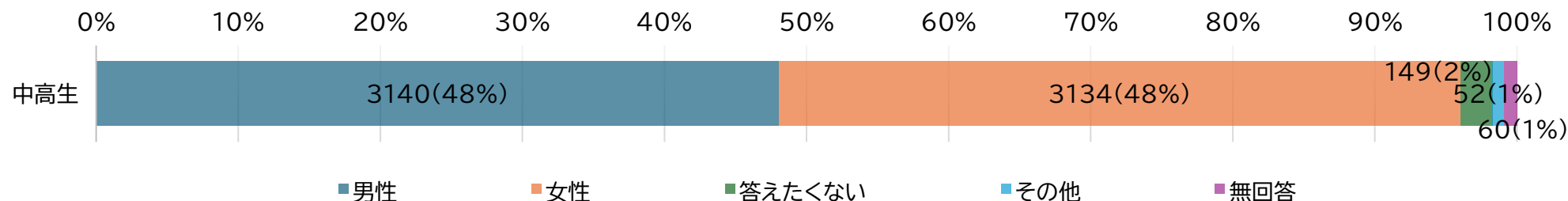
【中高校生】Q11. 性別について教えてください。

○男性 ○女性 ○答えたくない ○その他

【中高校生】Q12. 通っている学校について教えてください。

○区立中学校 ○私立中学校 ○国立中学校 ○都立高校 ○私立高校 ○国立高校

問11 性別について教えてください。(中高校生)



問12 通っている学校について教えてください。

